

チョット遅くなってしまいました...

みなさん 明けまして おめでとう ございます！

ことしもパワー全開で頑張りましょう！

昨年末はインドネシアでの大地震と大津波、年明けにはヨーロッパでの豪雨と地球規模での大災害が続いて悲惨な状況になっているようですが、みなさんは良い年を迎えられましたでしょうか？

私は札幌のカミさんの実家で新年を迎えました。ここ数年、我が家では恒例になっているのですが、集まった親族が食べる“年越しそば”は私が打つ事にしています。今年も31日は昼間のうちに鰹節を削ってから“そばたれ”のだし汁を作って冷やしておいて、夜はまだ宴もたけなわな頃から酒気帯び？でせっせと“そば打ち職人？”に変身しておりました。今年は9人分も出前？したんですよ！！

そばの出来案配ですか？ ウーン、そうですねえ～。以前と比べればだいぶ進歩して、一応お箸でもちゃんと食べられるくらいの長さになっています！味もまずまずだったようで、お客さん達？から“美味しい～っ！”って評判でした。

ホント、蕎麦打ちを始めた最初の頃は、ゆでるとスプーンでなければ食べられないくらい短く切れちゃって、“蕎麦マカロニ？みたい...だけど、おいしいよ！”って娘に慰められていましたけど...。トホホ。

でも、蕎麦打ちも自分でやってみてよ～く解ったのですが、本当に奥が深いですね。私は、つなぎ2：そば粉8の割合、いわゆる2・8の蕎麦を打つのですが、ほんのチョットした事で蕎麦の出来具合がぜんぜん違うんです。堆肥づくりと一緒に、最初の水分調整が（蕎麦打ちの場合は水回しというのですが）すごく重要で、ここで蕎麦が切れるか切れないかの勝負が決まるんです。その他ねり加減、のし加減、切り案配、ゆで加減とか...。もちろん原材料（そば粉）の質の影響も有ります。

何でもそうですが、やっぱり最初の仕込み？が肝心なんですね！みなさんも是非暇を見つけて挑戦してみてください。結構はまりますよ！

私の場合は道具にも凝っちゃうものですから、ずいぶん単価が高い蕎麦になっているんです！蕎麦を自分で打って食べる回数からはじき出すと、そば屋さんで食べた方がず～っと安くなるってカミさんからもよく言われます。確かにそば屋さんで食べた方がコストダウンになりますけど...。

でも、趣味ってそんなもんですよね！（...と、皆さんに同意を求めています！）

さて、前置きが長くなってしまいました。今年のオープニングはまず、私共が製造販売している微生物混合飼料“アースジェネター”のご紹介をさせていただきます。

アースジェネターは毎日きっちり継続さえして貰えれば、今までお話ししてきた“堆肥作り”だけではなく家畜の健康にも、とても役に立ちますのでガマンして読んで下さいねっ！私も少しは“営業マン”らしき事をせねば...ねっ、〇〇〇〇さん！

私だって本当はやれば出来るんですから！ただ、忘れちゃうだけなんですっ！（笑）

では、ここから本題の入ります！

アースジェネターとは...

有効土壌微生物の入っている混合飼料です。含まれている微生物の種類は善玉菌と

呼ばれている乳酸菌群、バチルス菌（納豆菌など）、酵母など複数の菌群で構成されています。菌の能力を利用した商品という意味では、生菌剤と同じなのですが、このように多種多様な菌群で構成されているため、それぞれの菌群たちのお互いの作用機序が証明できないという事で、飼料安全法という法律の分類上“その他の混合飼料”という範疇に入っています。

アースジェネターは飼料安全法に定める動物での「安全性の試験」（毒性はないか？継続給与した時に奇形が出ないか...など）を済ませて平成3年4月から発売されています。これを商品として発売する前には北海道の帯広畜産大学と約5年位共同研究を重ね、ようやくこの世に産声を上げました。

で、“何で複合菌かって？”はいっ！良い質問ですね！これは第1回目の最後の方にチョット触れていましたが、自然界には信じられないくらい多種多様な微生物たちが住んでいて、お互いに牽制し、あるいは助け合ってバランスを取りながら“共生”しています。もちろん動物やヒトのお腹の中（腸内細菌と言います）でも同じ事が起きています。そしてこの菌群たちのバランスがうまく取れている時は健康で、何らかの原因でバランスが崩れたときは体調が悪くなったり、あるいはもっとひどくなると病気になってしまいます。このように色々な菌群たちが住んでいるお腹の世の中？に“アースジェネター”の菌群たちは餌として放り込まれる訳ですから、1種類の菌群だけでは心細くて、中々生き延びたり、活躍できないのではないかと。だったら色々な友達や気の合った仲間たちと一緒に入れてあげたらきっと元気が出て、先に住んでいる菌達と仲良くやっていって活躍できるんじゃないかと思ったわけです。ヒトだって一緒でしょう？一人で居ると何となく心細くて元気も出ませんよね？だけど、気の合った仲間や良いライバルが身近にいと自分では思ってもみないような力が出てきますよね？これと一緒に、アースジェネターを複合菌にしているのはこういった理由からなんです。本当にそうかどうかは学問的にはまだ証明されている訳ではないのですが、フィールドで試験をしたり、実際の現場でやってみるとそうとしか思えない結果が出ているので、きっとそうなんだろうと思っています。

学問的な事は研究者の方々にお任せする事として...。（すみません！お願いします！）現場ではなんてったって良い結果が出なければお話になりませんからね。

アースジェネターの役割

では、アースジェネターの役割って何でしょう？その役割は大きく分けると次の4つです

1. 家畜の腸内細菌叢のバランスを保つ事による健康促進：経済性
2. 悪臭の発生を抑えて畜産公害を防止する：環境問題
3. **堆肥化の促進**：環境問題、土づくり
4. 畜産物の品質向上：ヒトにとっても健康な生産物

このように並べていますが、実はこれって結局は全部つながっているお話です。つまり、前回も書きましたが、

1. お腹の細菌叢のバランスが良くなったらお腹の中のウンコが腐りにくくなる。腐りにくいと言う事は腐敗ガスの発生が少なくなる。少なくなったら体調が良くな

る。体調が良くなると病気にかかりにくくなって生産性が上がる。

2. このようなウンコが排泄されたら、畜舎から発生する悪臭が少なくなる。
3. このような排泄物（ウンコ）は堆肥化がしやすい（腐ったウンコは発酵しにくい
んでしたねっ！）。なおかつ、そのように良い発酵をした物は土に還元したとき
に土も健康になって、その作物も健康になり丈夫で病気にかかりにくく、生産性
も上がる
4. さらに、発生した臭気成分は動物の脂肪にくっつきやすいですから、お腹の中で
発生した臭気成分は腸管から血液に乗って体の脂肪と結合し、獣臭として残
ってしまいます。また、健康になると言う事は、その体から生産された物（乳、
肉、卵など）は最終消費者であるヒトにとっても健康な食物に成り得ます。

ねっ、全部つながっていますでしょう？

何か風が吹いたら桶屋が儲かるって話みたいですね！

アースジェネターはこれらの事を一人で？全部やるために、最初のお腹の中からの
改善を期待している商品です。“くさい臭いは元から断たなきゃあダメ！”って言い
ますもんね。

但し、アースジェネターは決して困った事を何でも解決するという“スーパースタ
ー”ではありません。これはアースジェネターに限らず生菌剤と言われる物に共通し
て言える事ですが、基本的な飼養管理が出来ていなければ何も役に立ちません。ヒト
で言うならば、ろくな食事もしないで不摂生をして健康食品をせっせと食べているみ
たいなものですから、お金の無駄遣いですよ！過信は禁物です。ですから、こういう
ものはあくまでも“補助的なものである”と言う事を忘れないでくださいね。

あと、アースジェネターは“毎日確実に給与を継続する”と言う事が大切です。こ
ういうものは薬と違って即効性は有りませんから、緩やかにしか効果は発現してきま
せん。だから継続性が必要になってきます。“継続は力なり”って言いますでしょう？

そろそろページ数も残り少なくなってきましたので、この辺でアースジェネターの
紹介は止めにしておきますね。実際にどんな事が起きているかを詳しくお知りになり
たい方はいつでもご遠慮なくお尋ねください。もしご興味の有る方はご連絡頂ければ
パンフレットの他にも宮崎大学などでやって頂いた資料もございますのでお送りで
きますよ。必要とあらば私はどこにでも参上致しますので、声をかけて下さいね！

あっ、そうそう！給与量は成牛で毎日5g、コスト的には成牛1頭1ヶ月約340
円、子牛（300kg以下）でその半分位です。結構安いでしょう！！

ということで、最後まで読んで頂いて有り難うございました！
次回はまたチャントウンコのお話に戻りますので期待して置いて下さいね！

つづく